

鳴り砂と

女川町指定文化財を見よう。

していぶんかさい



鳴り砂の浜 (夏浜、小屋取浜)
(たよりすなのほま)

鳴り砂が鳴る条件は

1. 砂のつぶが 0.2mm から 0.8mm くらいの大さく
2. 一つ一つつぶの砂の角がとれて丸みがあること
3. 花こう岩の生成物が砂になること。
4. 砂の中に土やゴミがまがっていないこと。
5. 砂がかわいて、シミジミしていない天気の日。

たよとよどあひますが、

一番大切なのは、浜がきれいではないと砂は鳴らないのです！



嵐峠の石碑
(あらしじょうげのひ)

太平洋戦争があった頃(今から76年前)このあたりは海軍の特殊部隊が基地としていました。里津の浜から鮎川浜に続くこの峠道をつくった兵隊さんたちが嵐部隊です。この石碑はその記念に建てられたものです。

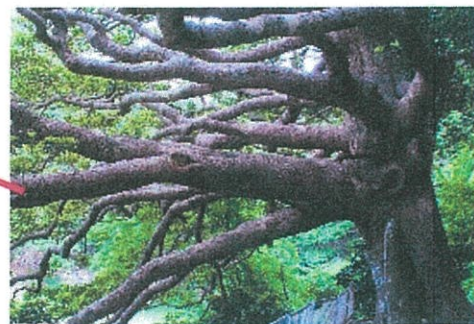
女川町には天然記念物が3、有形文化財が15の指定文化財があります。



天然記念物 ヒサカキ



ヒサカキはツバキ科の常緑木で、どこでも育つ強い木です。牛車馬としては葉っぱの先が、ノコギリの刃のようにキザギザしている。塚浜のヒサカキはこの木にしてはめずらしく大木なので、女川町では指定文化財として大切にしています。



天然記念物 タブノキ

タブノキはクスノキ科の常緑高木、枝がとて太く、大木になることの多い木です。塚浜のタブノキは太さが12メートルもある大きな木で、北限のものとしては、とてめずらしいと言われています。女川町指定文化財です。

天然記念物って...

重力動物や植物、石や金属などの自然の物に、関係するもので、あまり数が多くなかったり、ふつより大きかったり、ちよとイセとちがうから、牛車馬に大切にしましやうね、と、みんなに知ってもらうために、指定文化財として「とろく」しています。

天然記念物 ... 自然のもの
有形文化財 ... 人工的(人がつくった)なものなどがあります。

